

# SANIX

## 2010年3月期 第1四半期 連結決算説明会

株式  
会社 **サニックス**

2009年8月6日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 目 次

- |                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| <b>1. 2010年3月期 第1四半期の概況</b> | <b>P. 1</b> |
| <b>2. 2010年3月期 連結業績見通し</b>  | <b>P. 9</b> |

### 免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

# SANIX

株式会社 **サニックス**

## 2010年3月期 第1四半期の概況

### 第1四半期：決算概況

#### 第1四半期は、計画比増収増益

売上高	：	6,288百万円	（計画比増減額	+70百万円）
営業利益	：	66百万円	（計画比増減額	+325百万円）
経常利益	：	78百万円	（計画比増減額	+347百万円）
当期純利益	：	84百万円	（計画比増減額	+392百万円）

#### ◆売上高◆

環境資源開発事業部門においては、景気悪化により電力需要が低迷し、売電単価が下落。また、排出元企業のコスト削減の煽りを受け、廃プラスチックの受入単価が下落したほか、有機廃液の搬入が減少したため、環境資源開発事業部門では計画比減収(△157百万円)となった。しかしながら、HS事業部門においては、計画比増収(+132百万円)となり、ES事業部門においても、計画比増収(+95百万円)となったことから、グループ全体では計画比増収(+70百万円)となった。

#### ◆利益面◆

環境資源開発事業部門においては、減収に伴う収益悪化並びに苫小牧発電所定期修繕時の追加工事発生による修繕費の増加等の影響により、計画比減益となった。しかしながら、HS事業部門並びにES事業部門においては、計画比増収となったことに加え、固定費削減による収益の改善に注力した結果、全体で計画比増益となった。

# 第1四半期：連結損益の実績と計画差異

(単位：百万円)

連 結	2009/3期		2010/3期					
	第1四半期		第1四半期					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
売 上 高	6,583	100.0%	6,288	100.0%	95.5%	6,218	101.1%	70
(HS部門)	3,908	59.4%	3,925	62.4%	100.5%	3,793	103.5%	132
(ES部門)	792	12.0%	648	10.3%	81.9%	553	117.3%	95
(環境資源)	1,883	28.6%	1,714	27.3%	91.0%	1,872	91.6%	△ 157
売 上 原 価	3,595	54.6%	3,608	57.4%	100.4%	3,686	97.9%	△ 77
売 上 総 利 益	2,987	45.4%	2,680	42.6%	89.7%	2,532	105.9%	148
販 管 費	3,110	47.3%	2,613	41.6%	84.0%	2,791	93.6%	△ 177
営 業 利 益	△ 122	—	66	1.1%	—	△ 259	—	325
経 常 利 益	△ 124	—	78	1.2%	—	△ 269	—	347
当 期 純 利 益	△ 143	—	84	1.3%	—	△ 308	—	392

■ グループ全体として合理化を推進した結果、固定費削減が計画以上に進捗。売上高対販管費比率は、前年同期比で5.7ポイント低下(販管費前年同期比増減額：△497百万円)、計画比では3.3ポイント低下(販管費計画比増減額：△177百万円)となり、収益性が改善。  
特に、主力のHS事業部門における計画比増収増益の影響が全体の収益改善に寄与した。

**SANIX** 2

# 第1四半期：セグメント別損益の実績と計画差異

(単位：百万円)

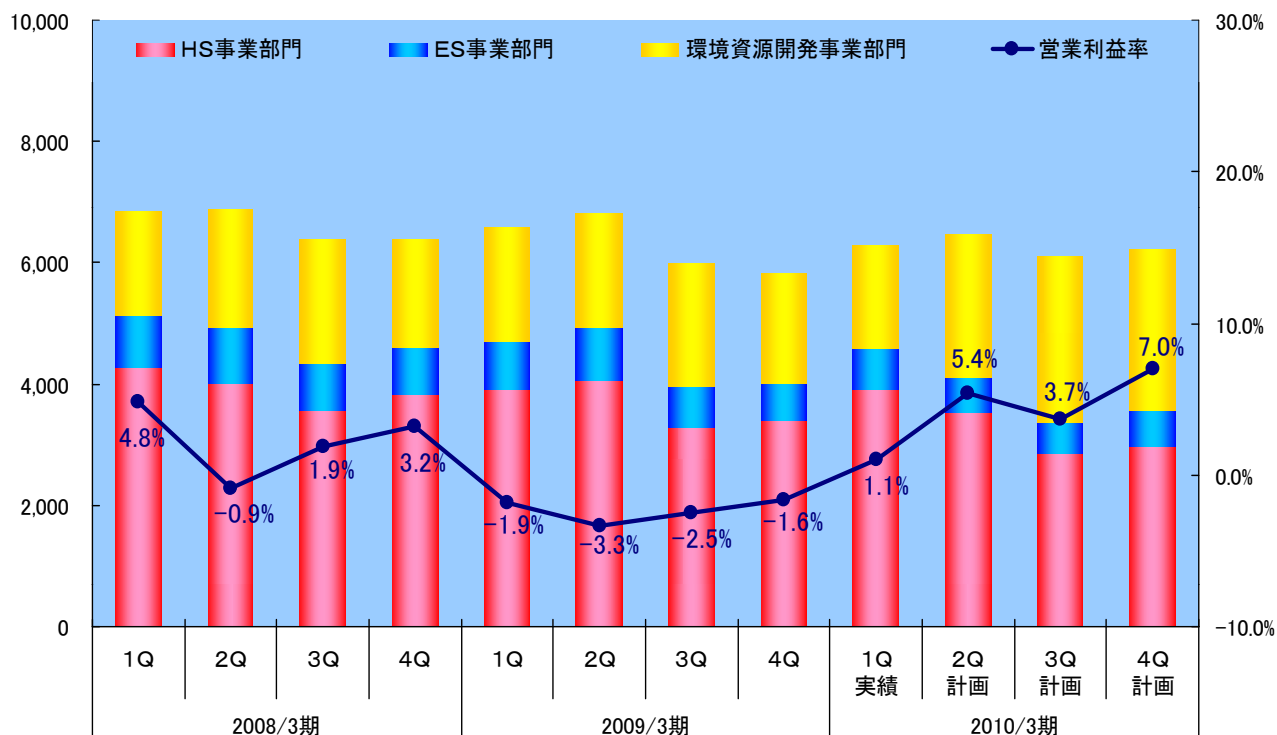
連 結	2009/3期		2010/3期						
	第1四半期		第1四半期						
	実績値	前期比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異	
HS 部門	売 上 高	3,908	91.4%	3,925	100.0%	100.5%	3,793	103.5%	132
	売 上 総 利 益	2,649	92.7%	2,669	68.0%	100.8%	2,530	105.5%	139
	販 管 費	1,833	110.6%	1,423	36.3%	77.6%	1,580	90.1%	△ 156
	営 業 利 益	816	67.9%	1,246	31.7%	152.7%	950	131.2%	296
ES 部門	売 上 高	792	92.1%	648	100.0%	81.9%	553	117.3%	95
	売 上 総 利 益	307	91.9%	273	42.2%	88.9%	231	118.5%	42
	販 管 費	316	83.6%	229	35.4%	72.5%	216	106.2%	13
	営 業 利 益	△ 8	—	44	6.8%	—	15	294.8%	29
環 境 資 源	売 上 高	1,883	110.3%	1,714	100.0%	91.0%	1,872	91.6%	△ 157
	売 上 総 利 益	30	130.8%	△ 263	—	—	△ 229	—	△ 34
	販 管 費	334	113.7%	400	23.4%	119.7%	398	100.6%	2
	営 業 利 益	△ 304	—	△ 663	—	—	△ 627	—	△ 36
配 賦 不 能	営 業 利 益	△ 626	—	△ 560	—	89.4%	△ 597	—	36

**SANIX** 3

# 第1四半期：セグメント別四半期推移

## ■セグメント別売上高・営業利益率の四半期推移

(単位:百万円)



**SANIX** 4

# 第1四半期：HS事業部門ハイライト

## HS事業部門

### ■売上高は計画比微増。コスト低減により、営業利益率が大幅に改善。

4月～6月にテレビCMを実施したことにより、「白蟻防除施工」は計画比4.1%増となった。また、「基礎補修・補強工事」は顧客への提案が一巡したこともあり、計画比15.5%減となったものの、「床下・天井裏換気システム」等の機器販売が好調に推移した結果、売上高は計画比3.5%増となった。

利益面ではコスト低減が進んだ結果、営業利益率は31.7%と、前年同期比・計画比ともに上昇した。

### ■商品別売上高・営業利益

(単位:百万円)

連結	2009/3期				2010/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比
白蟻防除施工	1,528	1,461	1,112	1,185	1,524	99.7%	1,464	104.1%
基礎補修・補強工事	1,220	1,220	990	943	827	67.8%	979	84.5%
床下・天井裏換気システム	564	718	593	672	832	147.4%	743	111.9%
家屋補強システム	110	101	75	122	112	101.7%	98	114.4%
その他	483	565	508	476	629	130.1%	506	124.1%
売上高合計	3,908	4,067	3,279	3,401	3,925	100.5%	3,793	103.5%
営業利益	816	1,057	718	878	1,246	152.7%	950	131.2%

**SANIX** 5

# 第1四半期：ES事業部門ハイライト

## ES事業部門

### ■13店舗の統廃合により、収益性が改善。

前期13店舗の統廃合を実施し、営業効率を高めるべく、大都市圏の法人営業へ特化。結果、売上高は前年同期比18.1%減となったものの、計画比では17.3%増となった。

利益面では、経営合理化の推進により固定費負担が減少した結果、営業利益が44百万円となり、黒字に転換した。

### ■商品別売上高・営業利益

(単位:百万円)

連結	2009/3期				2010/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比
防錆機器取付施工	201	200	121	198	190	94.4%	259	73.2%
建物給排水補修施工	220	268	213	174	201	91.6%	134	149.8%
建物防水塗装補修施工	139	181	121	51	51	36.7%	52	97.1%
その他	230	231	222	199	205	89.0%	105	194.3%
売上高合計	792	881	678	623	648	81.9%	553	117.3%
営業利益	△8	1	△53	△28	44	—	15	294.8%

**SANIX** 6

# 第1四半期：環境資源開発事業部門ハイライト

## 環境資源開発事業部門

### ■計画比減収並びにコスト増加により計画比減益。

景気悪化に伴い電力需要が低下し、売電単価が下落したこと等により、売上高は計画比減収となった。利益面では、苫小牧発電所における5月実施の定期修繕(昨年は9月実施)時に発生した追加工事により修繕費が計画比増加となった結果、営業損失は663百万円となり、前年同期比・計画比ともに減益となった。

### ■商品別売上高・営業利益

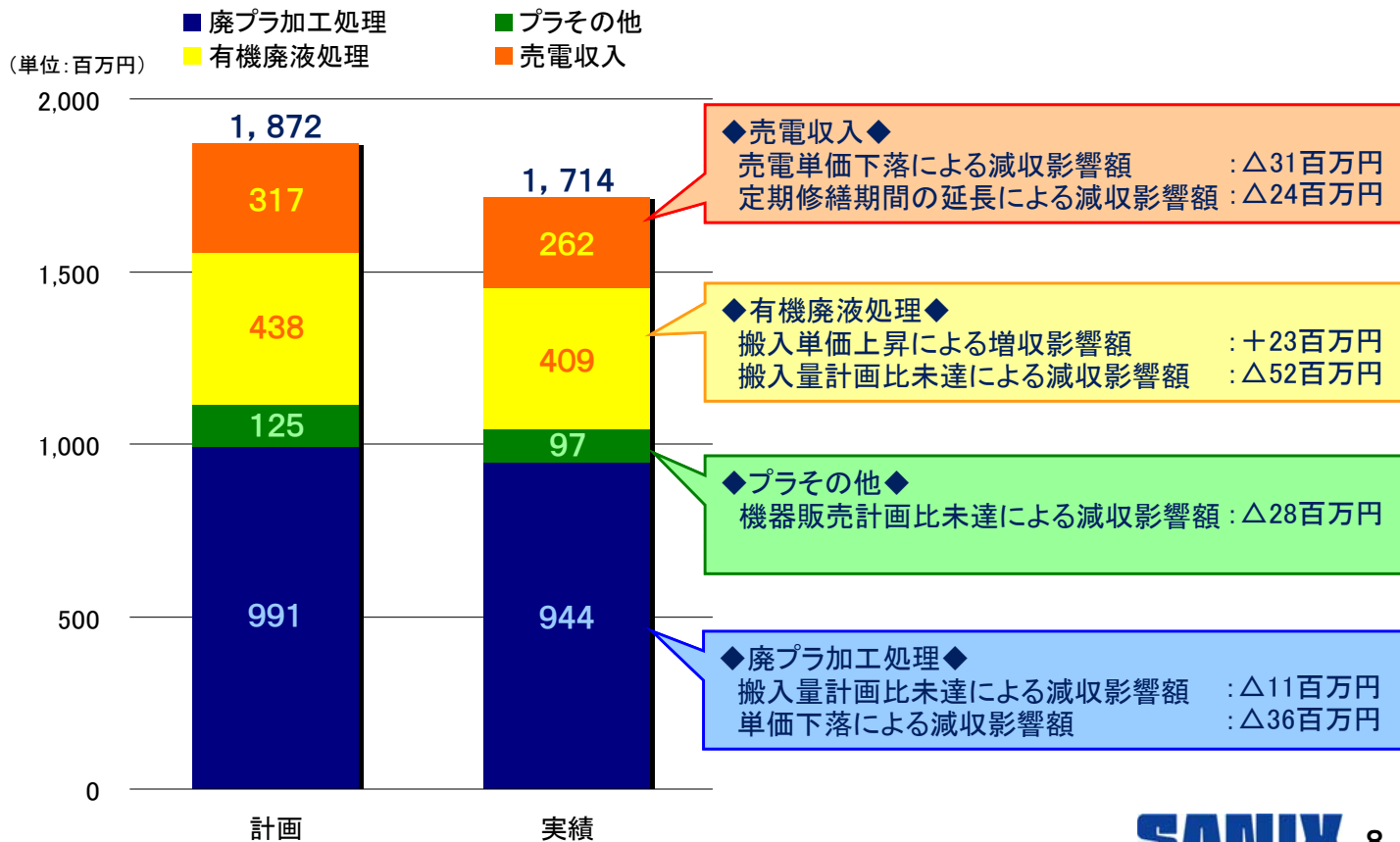
(単位:百万円)

連結	2009/3期				2010/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比
廃プラ加工処理	891	911	992	808	944	106.0%	991	95.2%
有機廃液処理	544	476	439	374	409	75.3%	438	93.5%
売電収入	270	344	463	473	262	97.2%	317	82.8%
その他	177	146	138	148	97	54.9%	125	77.8%
売上高合計	1,883	1,879	2,033	1,804	1,714	91.0%	1,872	91.6%
営業利益	△304	△741	△321	△451	△663	—	△627	—

**SANIX** 7

# 第1四半期：環境資源開発事業部門 計画比減収要因

## ■環境資源開発事業部門における減収要因



# SANIX

株式会社 **サニックス**

**2010年3月期**

**連結業績見通し**

## 2010年3月期：連結業績見通し

※ 業績見通しについては、変更はありません。

(単位：百万円)

連 結	第2四半期累計				通 期			
	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額
売 上 高	12,680	100.0%	94.5%	△ 732	25,000	100.0%	99.1%	△ 233
(HS部門)	7,322	57.7%	91.8%	△ 653	13,140	52.5%	89.6%	△ 1,517
(ES部門)	1,140	9.0%	68.1%	△ 534	2,265	9.1%	76.1%	△ 711
(環境資源)	4,218	33.3%	112.1%	455	9,595	38.4%	126.2%	1,994
売 上 原 価	7,158	56.5%	92.3%	△ 599	13,890	55.6%	94.7%	△ 784
売 上 総 利 益	5,522	43.5%	97.6%	△ 133	11,110	44.4%	105.2%	551
販 管 費	5,435	42.9%	90.5%	△ 571	10,360	41.4%	92.9%	△ 795
営 業 利 益	87	0.7%	—	438	750	3.0%	—	1,346
経 常 利 益	67	0.5%	—	435	720	2.9%	—	1,340
当 期 純 利 益	3	0.0%	—	740	600	2.4%	—	4,745

**SANIX** 9

## 2010年3月期：セグメント別業績見通し

※ 業績見通しについては、変更はありません。

(単位：百万円)

連 結	第2四半期累計				通 期				
	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	
HS 部門	売 上 高	7,322	100.0%	91.8%	△ 653	13,140	100.0%	89.6%	△ 1,517
	売上総利益	4,852	66.3%	89.9%	△ 544	8,480	64.5%	86.5%	△ 1,319
	販 管 費	3,079	42.1%	87.4%	△ 443	5,738	43.7%	90.7%	△ 590
	営 業 利 益	1,773	24.2%	94.6%	△ 100	2,742	20.9%	79.0%	△ 728
ES 部門	売 上 高	1,140	100.0%	68.1%	△ 534	2,265	100.0%	76.1%	△ 711
	売上総利益	482	42.3%	76.1%	△ 151	956	42.2%	85.4%	△ 163
	販 管 費	430	37.7%	67.0%	△ 211	856	37.8%	70.8%	△ 352
	営 業 利 益	52	4.6%	—	59	100	4.4%	—	189
環 境 資 源	売 上 高	4,218	100.0%	112.1%	455	9,595	100.0%	126.2%	1,994
	売上総利益	188	4.5%	—	562	1,674	17.4%	—	2,033
	販 管 費	798	18.9%	119.0%	127	1,581	16.5%	108.4%	122
	営 業 利 益	△ 610	—	—	435	93	1.0%	—	1,911
配賦 不能	営 業 利 益	△ 1,128	—	—	43	△ 2,185	—	—	△ 25

**SANIX** 10

# 2010年3月期：HS事業部門見通し

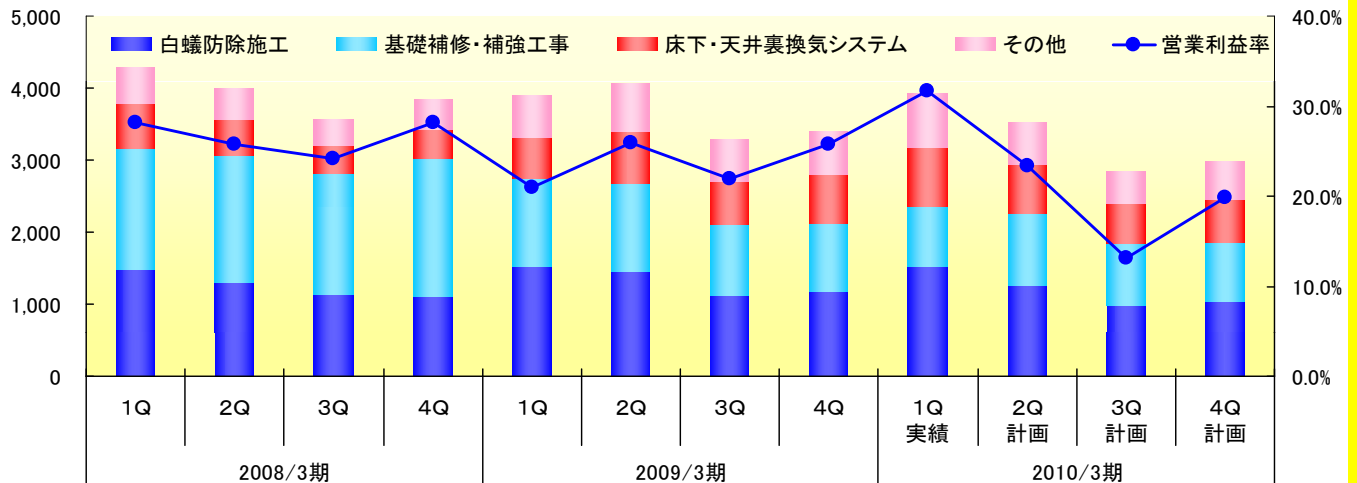
## 戦略と具体的施策

### ◆個人消費低迷は当面続くと予想 — 2Q以降売上高は前年を下回る水準で推移

- 法人営業を強化し、個人顧客や住宅に強みのある他社との連携を推進することにより、販路拡大を図る。
- 新商品の開発等、商品ラインナップの拡充を検討する。

### ■商品別売上高・営業利益率の推移

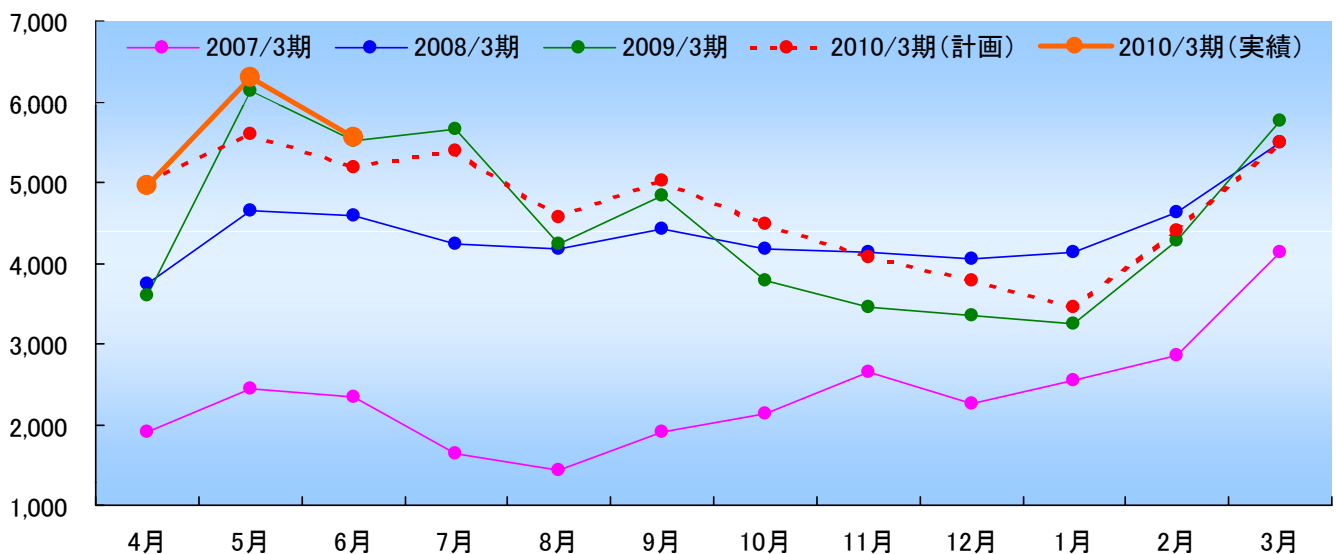
(単位:百万円)



# 2010年3月期：HS事業部門見通し

### ■営業1人当たり売上高の推移

(単位:千円)



※2007年3月期 9月以降の人員数は実際の稼働人員数で計算しています。

2009年3月期10月以降に低下した営業生産性は、同第4四半期末に元の水準まで回復。当第1四半期は計画以上の結果となり、引き続き前期並みの営業生産性維持に努める。



# 2010年3月期：ES事業部門見通し

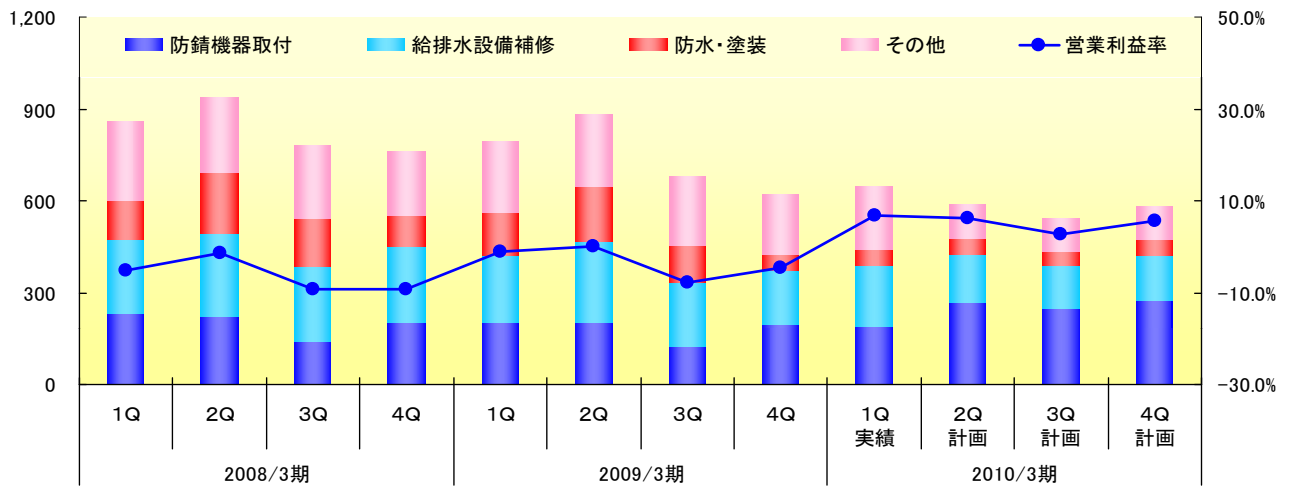
## 戦略と具体的施策

### ◆選択と集中により、利益体質への復活を目指す

- 関西以西は顧客管理・PC(ペストコントロール)中心の営業活動、中京以東は新規開拓に注力する。
- 新規開拓においては、利益率の高い防錆機器販売及び管・水廻り工事に注力する。

### ■商品別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



**SANIX** 13

# 2010年3月期：環境資源開発事業部門見通し

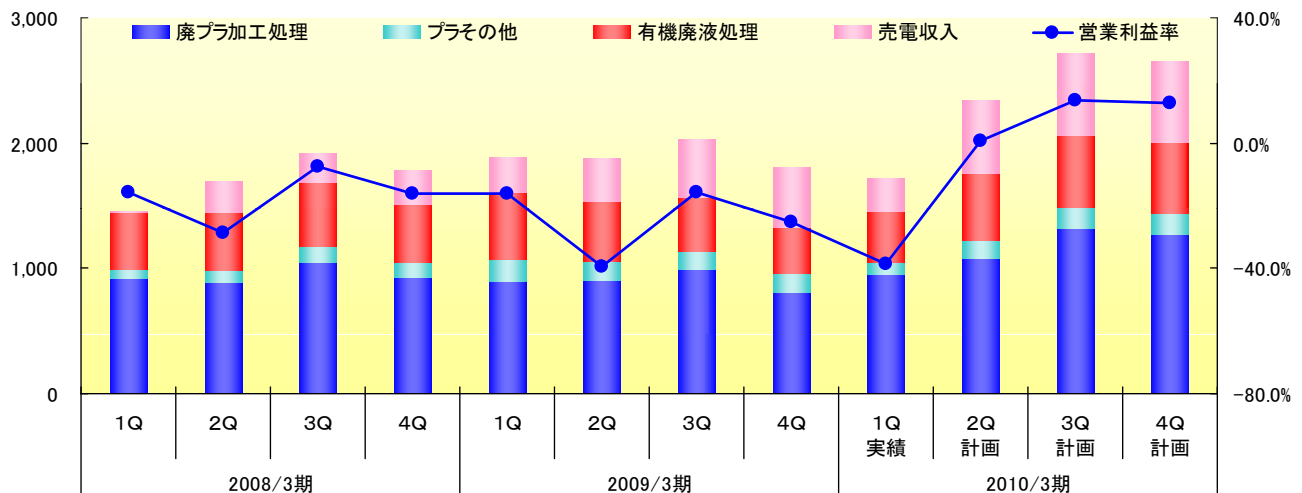
## 戦略と具体的施策

### ◆引き続きコスト削減並びに搬入量拡大に注力し、黒字化を目指す

- 売電単価は当面低水準で推移することが予想されるため、段階的な出力増加及び製造費の削減により、収益改善を図る。
- 廃プラ加工処理については、引き続き搬入量増大に努め、計画水準売上高への回復を図る。
- 有機廃液処理については、廃棄物排出量減少は当面続くものと予想されることから、設備投資によるコスト削減並びに安定操業により、収益性の改善を図る。

### ■商品別売上高・営業利益率の推移

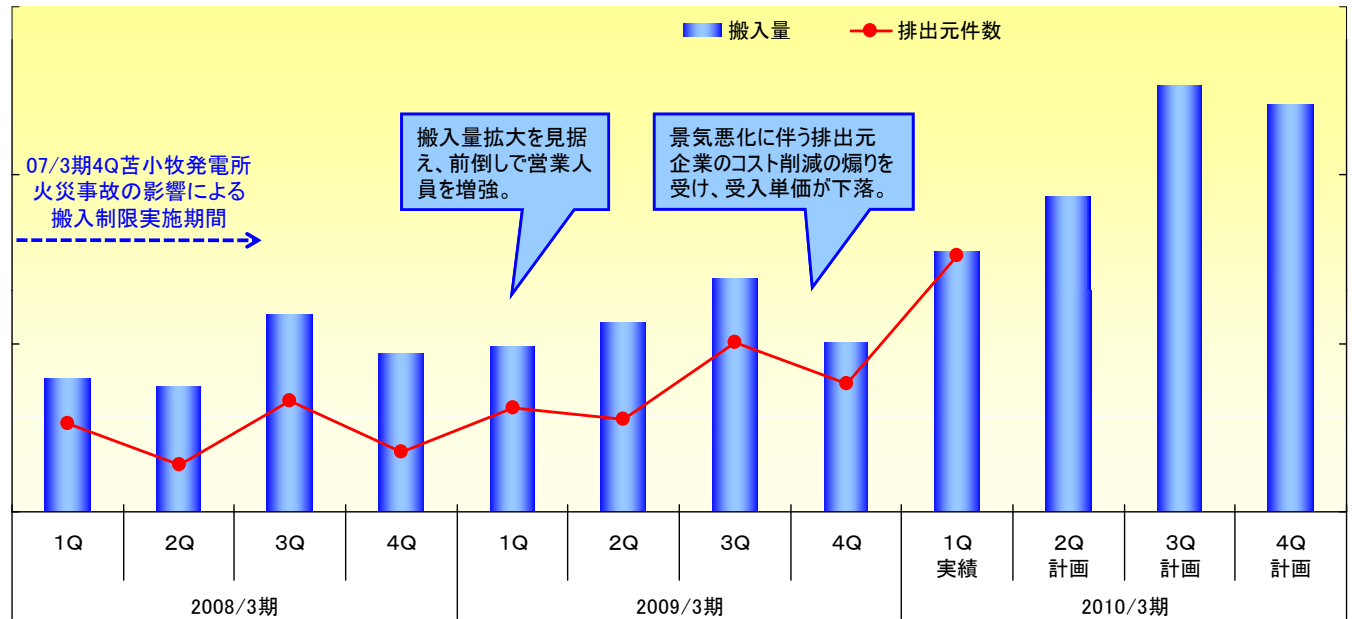
(単位:百万円)



**SANIX** 14

# 2010年3月期：廃プラスチック加工処理の見通し

## ■四半期別廃プラスチック搬入量の推移及び排出元件数の推移

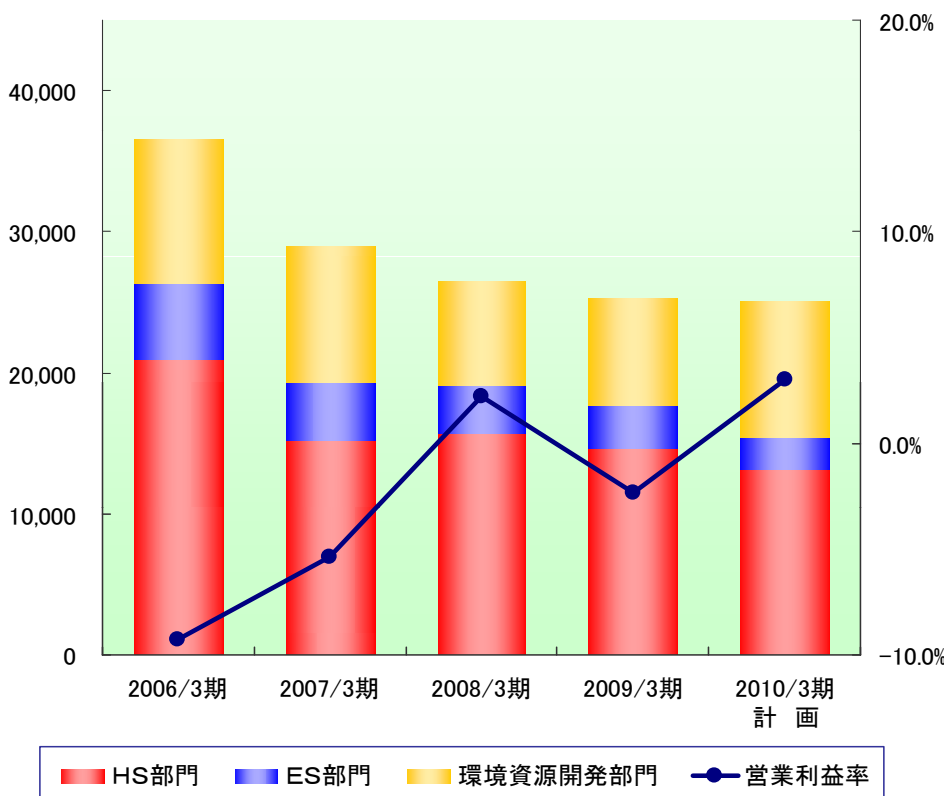


### <廃プラ加工処理見通し>

- ◆新規開拓及び過去の取引先の再契約は堅調に推移。
- ◆景気悪化により搬入単価が下落。単価下落による減収を搬入量拡大で補うべく注力する。

# 2010年3月期：インベストメントハイライト

(単位:百万円)



### 2010年3月期見通し

売上高	25,000百万円
営業利益	750百万円
(営業利益率)	3.0%
経常利益	720百万円
当期純利益	600百万円